

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 商業 科目 情報処理

教科： 商業 科目： 情報処理 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者： （ A組：堀内 ） （ B組：山崎 ） （ C組：武田 ） （ D組：永井 ） （ E組：山本 ） （ F組：山崎 ）

使用教科書： 商業 情報処理「Prologue of Computer」実教出版

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 情報処理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身につける。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む力を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 章 企業活動と情報処理 1 節 情報処理の重要性 2 節 情報モラルと法規 3 節 コミュニケーションと 情報デザイン	・ 情報処理の意義と役割 ・ 情報とデータ ・ 情報社会と法規 ・ 個人情報の保護 ・ 知的財産の保護 ・ 情報デザインの影響と効果	【知識・技能】 情報の意義と重要性について考え、説明することができたか。 【思考・判断・表現】 日常利用しているさまざまな情報システムに関心を持ち、その意義や役割を考え、理解することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおける情報の役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身につけようとする態度を持ったか	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	2 章 コンピュータシステムと情報 通信ネットワーク 1 節 コンピュータシステムの概要 2 節 情報通信ネットワークのしく みと構成	・ ハードウェアとソフトウェア ・ 情報通信ネットワークの役割と構成	【知識・技能】 コンピュータの基本的な機能と構成を理解し、ビジネスに活用できるハードウェアとソフトウェアを適切に構成して、その機能を活用することができたか 【思考・判断・表現】 情報技術におけるセキュリティ管理について興味を持ち、対策などを考察できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 また、個人が身につけるべき方策や様々な問題点などについて理解し、積極的に身につけようとする態度をもったか	○	○	○	8
	3 章 情報の集計と分析 1 節 ビジネスと統計 2 節 関数を利用した表の作成 4 章 ビジネス文書の作成 2 節 基本文書の作成	・ 表計算ソフトウェアの活用例 ・ データの入力と計算式の設定 ・ 基本的な関数 ・ ビジネス文書の役割と構成	【知識・技能】 基本的な操作や関数等について理解し、表を作成する技術を身に付けたかまた、ワープロの基本的な機能を利用して様々な文書が作成できたか 【思考・判断・表現】 情報の重要性について理解するとともに、情報を分析して適切に表現したか 【主体的に学習に取り組む態度】 情報の重要性について理解するとともに、情報を分析して適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	3 章 情報の集計と分析 3 節 グラフの作成 4 節 情報の整列・検索・抽出 5 節 問題の発見と解決の方法	・ 基本的なグラフの作成 ・ 応用的なグラフの作成と活用 ・ 問題の発見と問題解決のプロセス ・ モデル化とシミュレーション ・ アルゴリズムとプログラム ・ トレース	【知識・技能】 それぞれのグラフの特徴やグラフの構成要素を理解できたか。 【思考・判断・表現】 抽出されたデータなどの意義などを理解し、分析する判断に利用できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 目的に応じた適切なグラフを作成し、積極的に学習に取り組んだか	○	○	○	18
	2 章 コンピュータシステムと情報 通信ネットワーク 3 節 インターネットの活用 4 節 情報セキュリティの確保	・ インターネットのしくみ ・ webページの検索と活用 ・ 電子メールの活用 ・ セキュリティ管理の重要性	【知識・技能】 個人が身につけるべきセキュリティ管理についての方策や様々な問題点などについて理解できたか。 【思考・判断・表現】 情報技術におけるセキュリティ管理について興味を持ち、対策などを考察できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報セキュリティ管理について積極的に身につける態度を持ったか	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	5 章 プレゼンテーション 1 節 プレゼンテーションの技法 3 章 情報の集計と分析 4 節 データの検索・抽出 総合演習	・ プレゼンテーションの技法 ・ 表の検索 ・ 総合問題	【知識・技能】 プレゼンテーション活動の意義や役割を理解するとともに、情報収集と整理、内容構成など、プレゼンテーションの準備から評価改善に至るまでの一連の流れや基礎的な技法を身に付けているか。【思考・判断・表現】 各種ソフトウェアを活用し、実習に積極的に取り組み、適切な文書などに必要な処理などを考察できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々なソフトウェアと連携した文書などが作成するよう、積極的に身につける態度を持ったか	○	○	○	17
3 学 期	定期考査			○	○		1
							合計 70